



ちょっと気になる麻酔の話

歯科医院で受ける麻酔の注射って針先が目の近くに迫ってくるし薬液が注入される違和感があったりしてけっこう気が重いものですよね・・・
私たちの歯科医院では細やかな配慮を重ねることで注射の痛みを消すのはもちろん違和感もグッと減らして患者様に優しい麻酔をしています。

浸潤麻酔…虫歯、歯周病の治療や抜歯に。

歯ぐきから麻酔薬を注入します。歯科医院で一番多く使われている麻酔法です。ピンと張った歯ぐきと骨の間に麻酔薬を注入するため薬液による圧迫痛がでることがあります。

歯根膜注射…虫歯、歯周病の治療や抜歯に。

歯と骨をつなぐ歯根膜に針を刺して薬を流し込むため麻酔がさめた後、噛むと歯が浮くような感覚が1～2日ほど残ることがあります。
数日で治まってきますのでご心配にはおよびません。

伝達麻酔…親知らずの抜歯やインプラントに。

枝分かれした小さな神経に効かせる局所的な麻酔ではなく、口の奥のほうを通る三叉神経の支流の太い神経の根本の近くに麻酔注射を打つというものです。細かい神経の末端までドンと広範囲に効きます。

麻酔は患者さんの頼れる味方です

私たちは痛みを減らすために小さな治療を心がけ、麻酔を使ってきめ細かに対応しているのは、歯医者嫌いを一人でも減らしたいと思っております。痛くて怖いというイメージを払拭するため歯科治療ならではの気配りと配慮でさまざまな対応をさせていただきます。

治療のための通院を卒業し、快適で気持ちのいい
予防のための定期検診をはじめましょう。